

東京芸術文化評議会 第1回江戸文化の魅力発信部会 議事概要

日 時	令和7年1月29日（水） 13:15～14:45
場 所	東京都庁第一本庁舎42階 特別会議室B
出 席 者	委 員：青柳正規委員（部会長）、大石学委員、小粥祐子委員、近藤誠一委員、陣内秀信委員、千田嘉博委員 事務局：古屋留美生活文化スポーツ局長、蜂谷典子文化振興部長、富岡麻紀子文化施設・連携推進担当部長、石岡由江調整担当部長、伊東亜希子企画調整課長、桜井健士文化政策担当課長、清水秀樹調整担当課長、齊藤圭祐連携担当課長 計14名
欠 席 者	伊藤裕久委員、西村幸夫委員
議 題	1. 江戸文化の魅力の整理について 2. 江戸文化の魅力発信について
配布資料	東京芸術評議会運営要綱 東京芸術文化評議会 江戸文化の魅力発信部会 委員名簿 その他非公表
要 旨	□ 議題1「江戸文化の魅力の整理」について 事務局：江戸文化の特徴等について、資料に基づいて説明 委 員：江戸は、自然・地形をうまく活かして町づくりされた、世界的にも例がない都市 委 員：江戸の文化は、260年にわたる平和の中で、上方文化や歴史的文化も取り入れながら、独自に形成された和風文化 委 員：江戸文化は、ハード・ソフト共に様々な魅力が遺されており、その整理は勿論、有形無形を問わず、1つ1つのテーマ・対象に関して魅力の深掘りが重要 委 員：世界へのメッセージとして、「自然」と「平和」が生活に沁み込んでいることは効果的なアピールポイント 委 員：江戸文化の海外での理解を高めるには、その素晴らしさを言語化・外国語化し、伝わり方や理解度を確認しながら、伝える工夫を重ねていくことが重要 委 員：世界遺産登録には、学術史料の収集、価値の整理のほか、保存管理の検討などクリアする課題も多く、粘り強く取り組んでいくことが必要なため、身近に相談できる学術関係の体制整備が重要 意見交換の結果、学術検討体制を整備の上魅力を更に整理し、検討を深めることとなった。 □ 議題2「江戸文化の魅力発信」について 事務局：江戸文化のプロモーションについて、資料に基づいて説明 委 員：ロゴマークを活用したプロモーションは、世界遺産への機運醸成に有効 委 員：TokyoTokyo など既存ロゴとの関係性を整理することで効果的な発信に繋げるべき 委 員：江戸末期の訪日外国人が書き残したものや、日本在住の著名な外国人等から、外国人視点でのアドバイスをもらうと良い 委 員：より効果的なプロモーションのためには、専門家の関与も必要 意見交換の結果、ロゴマーク等も活用した具体的発信方法や、プロモーションに向けた専門家の関与の検討をすることとなった。 以上